【大学教育推進会議】e-Learning 推進部会

1．e-Learning 科目並びに担当者(8 月 31 日〆切)

学科・専攻・専修	科目名	担当者(敬称略)	コンセプト
生活科学	消費生活論	三輪聖子	衣料管理士資格の必修科目であり、生活者として QOL を高めるための知識を学ぶ。
住居学	インテリアデザイン論	森田　実沙	教職関連科目で他の学科専攻の学生も受講
	構造力学基礎Ⅰ	黒見　敏丈	数学のリメディアル教育も含めた基礎導入科目
健康栄養	基礎生物	清水　祐美	管理栄養士のための基礎科目
国語教育	日本語文章表現	入江さやか・大嶽和好	免許科目（中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状）
書道教育	日本書道史	住川　英明	集中講義が重複した学生が受講
観　光	世界遺産論	瀬戸　敦子	国家試験関連科目（旅行業務取扱管理者）
英語教育	英語科教育法	河原　俊昭	免許科目（中高一種免許状・英語）
デジタルアーカイブ	情報処理実習	櫟 彩見	資格取得試験対策
初等教育学	教育の方法・技術	齋藤陽子	免許科目（全校種・教育の基礎的理論）※沖縄校との共通活用
沖縄サテライト校	デジタルアーカイブ入門	加藤　真由美	編入学後デジタルアーカイブをはじめて学ぶ学生にための概論
DX 推進科目		**担当者**	**コンセプト**
メタバース	メタバース基礎	横山 隆光	
ドローン	ドローン基礎	熊﨑 康文	
データサイエンス	データサイエンス基礎	村瀬　康一郎	

※コンセプトには、どのような科目群で構成するかを記載（大学の新たな展開を視野に入れて記入してください。）

(例)　コアカリキュラム、資格科目(資格名)、免許科目(免許名)等を記載

次　回：9 月 7 日(木)　13：10~14：10　(予定)

提　出：コンセプト決定・・・科目名決定(担当者決定)（8 月中）

2．e-Learning 科目の学修到達目標(9 月 30 日〆切)

No	テーマ	学修到達目標	内　容	課題
(例)	インストラクショナルデザイン	・インストラクショナルデザインとは何か説明できる。 ・ADDIE モデルについ事例をあげて説明できる。 ・カークパトリックの４段階評価モデルについて事例をあげて説明できる。	(1)インストラクショナルデザインとは (2)教材開発とインストラクショナルデザイン (3)授業設計のプロセス ・ADDIE モデル (4) カークパトリックの４段階評価モデル	(1) カークパトリックの４段階評価モデルについて、各段階における評価方法には何があるかグループで考察しなさい。 (2) 授業設計のプロセスにおける ADDIE モデルについて、各プロセスの内容を、具体的に授業を設計する場面を当てはめなさい。
第１講				
第２講				
第３講				
第４講				
第５講				
第６講				
第７講				
第８講				

3．テキスト作成（12 月 31 日〆切）

別紙テキスト(様式)に従ってテキスト作成

（1）各講　6 ページ以上（基本的に通信の場合には 2 単位 200 ページを基本にしている。）

（2）資料を QR コードで示す

（3）参考文献

〇講座は自作テキストを基本とするが、必要に応じて市販テキストも可とする。

第 1 講　インストラクショナルデザイン

亀井美穂子 （椙山女学園大 ・准教授）

平成 26 年度版情報通信白書

【学習到達目標】

・学力の定義と２１世紀型スキルについて説明できる。
・求められる学力について説明できる。

1．現代社会の特徴

ICT は、その能力の指数関数的な向上及び価格低下に伴い、世界全体に急速に浸透し、ICT 産業にとどまらず、他の産業や社会全体、企業のビジネスモデル、個人のライフスタイルなど様々な領域で大きな変化をもたらしている。スマートフォンへのシフト、コモディティ化、新興国市場の拡大は、従来の市場競争のあり方を根本から変えることで、個々の企業の競争力・業績に大きな影響を与え、環境変化に適応した企業が業績を拡大する一方、従来型の市場で大きなマーケットシェアを持っていた企業が業績の不振に苦しんでいる。加えて、スマートフォンや SNS 等の普及は人々のライフスタイルやワークスタイルに大きな変化をもたらし、人々の情報行動 1 を大きく変化させるとともに、新たな就業のスタイルを生み出し

4．プレゼン資料並びに動画作成（1 月 31 日〆切）

別紙プレゼン（様式）に従ってプレゼン作成し、プレゼン資料を元に 20 分程度の説明動画

（1）各講 20 分程度

（2）様式に沿ってプレゼン資料を作成する。

5．e-Learning サイト作成（2 月 29 日〆切）

（１）基本的には、「大規模公開オンライン講座：MOOC(Massive Open Online Courses) 」とするが、
講座内容に応じてパスワードにて 1 段階認証を行う。

（２）市販のテキストも可とする。その際には、映像にテキストの内容を表示するか
ページ数を明らかにするかして、受講生にわかりやすくする。

（３）大学のロゴスウェア(LMS)e-Learning システムに登録も可

6．e-Learning-サイトの確認並びに検証（3 月末〆切）